



日本共産党 荒川区議会議員

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

885 2023年12月24日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
1月9日(火)
(正月のため変更)
18時~20時
横山区議事務所

防災・福祉のまちづくり

「一人の犠牲者も出さない」ために住宅耐震化・不燃化の現状は…?

Table with 2 columns: Area (町屋・尾久地区, 町屋二・三・四丁目, 荒川五六丁目, 尾久地区) and Non-combustible rate (64.5%, 61.1%, 64.9%, 65.4%).

不燃領域率とは
市街地の延焼のしにくさを表す指標。市街地の面積に占める耐火建築物の敷地および幅員6メートル以上の道路等の公共施設的面積の割合。70%を超えると他地域への延焼をなくすることができる。

日本共産党区議団「重点要望」より
感震ブレイカー、家具転倒落下防止金具設置の100%設置実現へ、区の補助制度を抜本的に拡充
命を守るための簡易耐震・簡易不燃化工事への補助制度を創設。

町屋二・三・四丁目の住宅耐震化、不燃化は区最大の課題
建物「倒壊」を防ぐための簡易耐震工事補助の実施を
荒川区は、最新の被害想定に基づく地域防災計画の修正を行っており、議会側も調査研究を行っています。
今回、防災の大前提となる「安全な都市づくり編」の議論が行われました。
最重要課題は、木造密集地域の整備改善に向けて住宅耐震化・不燃化の推進、道路拡幅、家具転倒防止など。

今年も残りわずかとなりました。新しい年へ向け、地域で住み続けるため、区政に求められるものは何か？今回は、まちづくり、とりわけ、地震で大きな被害が想定され不燃化特区に指定されている町屋二・三・四丁目について考えてみたいと思います。また裏面には町屋地域全体のまちづくりの課題を特集してみました。
みなさんのご意見をお寄せください。(横山幸次)

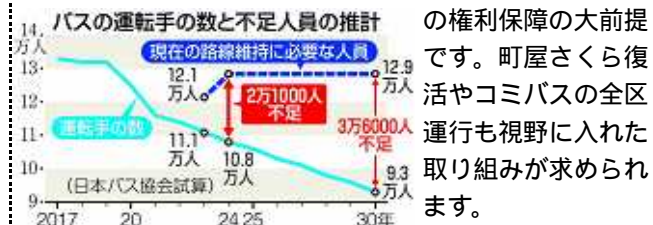


Table showing project progress status for routes A, B, C, and D, including completion rates for road work and measurements.

領域率は70%の目標に対し60%程度です。あくまでも延焼の度合いを示す数字です。また、生活道路を6mに拡張する4路線も完成は、遠い先のようです。
「1人の犠牲者も出さない」ために
想定される首都直下地震では、建物倒壊と火災が死亡の最大要因です。住宅耐震化が進まない原因に経済的負担、高齢化、一時移転などが壁になっています。
最低限、最初の一撃から建物倒壊を防ぐための簡易な耐震工事への補助も実施することが必要です。

町屋6丁目のドン・キホーテなど閉店で深刻になる買い物弱者の増加…対策が必要
今年9月ドン・キホーテ町屋店、ダイソー町屋店、ゲオ町屋店、ガスト荒川町屋店などが閉店となりました。いまは仮困いが施され(下写真)、「工事のお知らせ」によると来年1月9日から本格的な解体工事が始まるようです。所有者のご都合もあってのことと致し方ないとは思いますが、しかし思い返すと、この地に大型小売店舗が進出、その後も入れ替わりはあっても貴重な商業施設となっていました。しかしその間、周辺からほとんどの小売店はなくなり、いまや日常生活用品、食品など買うところが全くなくなり、

「町屋さくら復活・移動の自由保障を考える」…19
運転手不足の中公共交通の維持は政治の責任で
以前にも触れましたが、運転手不足による路線バス廃止が全国で相次いでいます。2024年問題もあり事態は一層深刻です。足立区のコミュニティバス「はるかぜ」の路線のうち、国際興業が運行する「はるかぜ3号(西新井・舎人線)」は、来年3月末で運行を終了します。移動の権利を保障することは、国民が憲法が保障するあらゆる権利…生存権、文化的な最低限も生活、教育、福祉などにアクセスする大前提です。国・自治体の支援は、住民の権利保障の大前提です。町屋さくら復活やコミバスの全区運行も視野に入れた取り組みが求められます。





2023~24年…町屋地域のまちづくりの課題は

町屋5、6、7丁目のバリアフリー化を急いで

この地域には、都営住宅、高齢者・障害者施設、保育園などが集中しています。歩道上の電柱移設撤去、道路の段差解消など思い切った対策が必要です。また黒波線枠内は、明白な交通不便地域です。



町屋さくらの復活など交通手段を

町屋さくらに廃止は、多くの住民の移動手段を奪い、以前の生活を維持できなくなっています。一刻も早い復活と地域公共交通の整備が求められます。

毎年、安心して住み続けることのできる地域の課題をいっしょに考えてきました。ぜひご意見などお寄せください。



町屋公園(町屋7)整備は住民参加で

区内でも一人当たりの公園面積が少ないのが町屋。町屋7丁目公園と尾竹橋公園を一体で整備します。区民の声を反映させながら整備を進めてほしいものです。

買い物不便地域は旧町屋さくら沿線と一致

ドン・キホーテなどが閉店、「買い物が大変」「日用品の購入もできない」など深刻な声が届いています。

町屋さくらの走っていた沿線である町屋5・6・7・8丁目にスーパーはなくコンビニくらいです。他に比べても高齢化が進んでおり、区として移動販売など買い物支援の対策が切実です。



町屋8丁目都住の周辺は、交通不便地域

8丁目都営住宅の前を走っていた町屋さくらが廃止されて困っている住民も多くおられます。一番近くの都バスの停留所まで約400m以上、町屋駅までは1キロ近くあります。町屋さくら復活や移動手段の確保は切実です。

町屋地域全体の防災・福祉のまちづくり

不燃化特区だけでなく、町屋1丁目をはじめ危険度の高い地域は多く存在しています。地域内の公有地の確保(公園や防災スポットなど整備)、道路の拡幅、危険なブロック塀の除去、そして何よりも住宅の耐震・不燃化です。そのために、安全住宅に住むための支援を抜本的に強化する必要があります。また、不燃化特区内では、空き家など除却した跡地が結構目立っていますが、ぜひ公有地として活用してほしいものです。



町屋2、3、4丁目の防災まちづくり

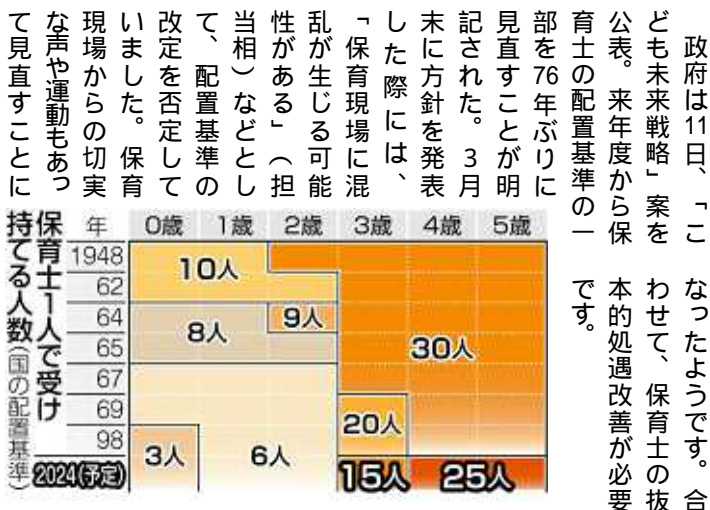
なんといっても、住宅の耐震、不燃化、生活道路拡幅など待ったなしの地域です。

町屋3丁目ふれあい館の建設

区は、北村園倉庫跡地の確保の目途がつき、現在基本設計を行っているようです。住民要望も入れた施設として、また防災拠点としての機能が期待されます。



今週のデータ 76年ぶりに保育士配置基準の見直しへ合わせて保育士の処遇改善が急がれます



政府は11日、「こども未来戦略」案を公表。来年度から保育士の配置基準の一部を76年ぶりに見直すことが明らかされた。3月末に方針を発表した際には、「保育現場に混乱が生じる可能性がある」と(担当)などとして、配置基準の改定を否定していました。保育現場からの切実な声や運動もあって見直すことに

共産党区議団は、物価・エネルギー高騰で大変な区民生活支援を優先すべきと報酬引き上げに反対しました。が、賛成多数で可決。議員報酬は区民の納得

特別区人事委員会の動告

	民間従業員	区職員	差
月例給	383,184円	379,462円(平均38.9歳)	3,722円(0.98%)
特別給	4.64月分	4.55月分	0.09月

【荒川区議会議員の月額報酬】(0.98%増に)

	改定前	改定後	
議長	91万7千円	92万6千円	9千円増
副議長	78万4千円	79万2千円	8千円増
委員長	65万2千円	65万8千円	各6千円増
副委員長	62万4千円	63万円	
議員(役職なし)	60万2千円	60万8千円	

【区長等の月額給与】(0.3%増に)

	改定前	改定後	
区長	114万3千円	114万6千円	3千円増
副区長	91万7千円	92万円	3千円増
教育長	83万円	83万2千円	2千円増

11月会議で一般職員とともに区長・副区長・教育長給与と議員報酬の引き上げが決まりました。引き上げ額は、左表のとおりです。

と理解が必要です。また日ごろの活動の透明性も求められます。区民生活に役立つ活動を大切に、これからもがんばります。

議員報酬と高すぎる議長報酬等の引き上げに反対